

評価シート 様式

| | | | |
|---------|-----------------|-------|-----------------------------------|
| 取組名 | 利根川舟運による地域活性化事業 | | |
| 実施団体名 | 利根川舟運・地域づくり協議会 | 対象地域 | 茨城県、千葉県の利根川下流域(霞ヶ浦、手賀沼、印旛沼を含む)市町村 |
| (代表団体名) | — | 推薦団体名 | — |

| | | | |
|---------------|--|---------------------------|--|
| ① 実施 状況 | 提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか | ② 実施 体制 | 平成20年度に行われた取組の実施体制について |
| | <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 | | <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 |
| | <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 | | <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。 |
| (備考・特記事項) | | (備考・特記事項) | |
| ③ 効果 | 平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について | ④ 継続 展開 の見 込み | 平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて |
| | <input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 | | <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 |
| | <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。 | | <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 |
| (備考・特記事項) | | (備考・特記事項) | |

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

| | | | |
|---------|-----------------|-------|-----------------------------------|
| 取組名 | 利根川舟運による地域活性化事業 | | |
| 実施団体名 | 利根川舟運・地域づくり協議会 | 対象地域 | 茨城県、千葉県の利根川下流域(霞ヶ浦、手賀沼、印旛沼を含む)市町村 |
| (代表団体名) | — | 推薦団体名 | — |

| | |
|-----------|---|
| ⑤ 総合評価 | ○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見 |
| | ○ 評価 |
| | <input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。 |
| | <input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。 |
| | (評価の考え方及び次年度以降に向けた所見) |

本取組は、河川舟運の可能性について検証することにより、地域資源の掘り起こしと将来的な地域交通の補完という取組を複合的に進めた点が評価できる。今後は、以下の点に留意しつつ、地方の元気再生事業を継続することにより、継続的な展開が期待できるものである。

平成22年度以降の事業の本格展開に向けて、事業に継続的に取り組む主体をどうするかが最大の課題である。このため、早急に今後の実施体制の検討を進めるべきである。

具体的には、取組①「利根川舟運連携リレーイベントの実施」及び取組②「流域の河川空間活用イベントの展開」に取組を重点化するとともに、具体的な実施・協力体制の早急な確立を図り、今後の本格展開時の継続性についても検証を行うべきである。取組③「農林漁業産品の販売促進企画の展開」については地方の元気再生事業ではなく地域で独自に取り組むべきである。